

長楽寺の仏像

町内には、すぐれた史跡、文化財などがたくさんあります。中でも長楽寺（下榎）には、国の重要文化財に指定されている薬師三尊（薬師如来、日光、月光菩薩）、毘沙門天、不動明王の仏像5体があり、全国各地から多くの拝観者が訪れています。長楽寺の薬師三尊は、奈良の薬師寺や法隆寺と並び、現存する代表的なものとして紹介されています。



月光菩薩（がっこうぼさつ）



不動明王（ふどうみょうおう）

全国でも指折りの傑作

日野町下榎にある長楽寺（八谷天祐住職）には、国内でも指折りの傑作ともいわれ、国の重要文化財に指定されている仏像5体が、そのすばらしい姿を残しています。

薬師三尊（薬師如来、日光、月光菩薩）と毘沙門天（以上は大正9年に指定）、不動明王（昭和17年に指定）の5体、いずれも平安朝の作といわれています。

長楽寺の薬師三尊は、全国に現存する代表的なものとして紹介されており、端正な面立ち、美しい姿が特徴。病氣や苦しみを救ってくれるといわれています。

毘沙門天は、全国でも指折

りの傑作。左手に宝塔をささげ、足元に邪鬼を踏んでいる姿は、実に堂々としています。大黒天と同様に、福德を授けらるるとされています。

不動明王は、刀法に迫力があつて、内に怒りがこもり、見事な作りです。開運を授けらるるとされています。

頭に干支を乗せているのが特徴で、薬師を守護、人々を守り徳を授ける神といわれる十二神将像（町文化財指定）も収蔵されています。



来年の干支（えと）酉神（とり）
迷企羅大将（めきら）

仏像は、本堂隣りの収蔵庫の中に安置されています。連絡すれば拝観もできます。年間を通して、東京など関東地方、岡山、広島など中国地方、福岡県など九州地方から参拝客が訪れています。

長楽寺の本堂天井は、格天井（こうてい）になっており、備後国（広島県）の狩野派絵師、法橋素準の筆による116枚の花鳥



日光菩薩 (にっこうぼさつ)



薬師如来 (やくしにょらい)



毘沙門天 (びしゃもんてん)

(オシドリの絵もあります)の絵がはめ込まれています。また、平安期の唐草鏡、宋銭も所蔵されています。
長楽寺は、国道180号から下檜橋を渡り、鶉の池へと続く道が上がって約3^{キロ}標高340^{メートル}の山腹にあり、伯耆霊場33か所の第9番の札所にもなっています。

薬師如来

薬師三尊の本尊。端正な面立ちで姿が美しく、日本でも代表的なものにあげられる。木彫りで高1・3^{メートル}の座像。病氣や悩みを救うといわれる。

日光・月光菩薩

薬師三尊の脇侍。薬師如来と一連の作風。如来の隣(日光は左、月光は右)に立つ。木彫りで高さ1・7^{メートル}の立像。日光は昼間、月光は夜間に人々を救うといわれる。

毘沙門天

国の毘沙門天の中でも傑作といわれる。木彫りで高さ1・4^{メートル}の立像。福德を授けるといわれる。

不動明王

おとなしくはあるが、内に怒りがこもり、見事な作り。木彫りで高さ1・6^{メートル}の立像。開運を授けるといわれる。